



ECOビジネス倶楽部本部

法人向け営業強化

断熱塗装剤 オフィスビル狙う

ECOビジネス倶楽部本部(東京都台東区、島田靖弘社長、03・5825・6897)は、断熱、断熱コーティング剤の法人向け営業を強化する。オフィスビルなど大型案件における環境対策強化の需要が増加しているため、今年度下半期中に10件、09年度は50件の受注が目標。また法人向けの大口受注への対応を強化すると同時に、同社のビジネスに手軽に参加できる「省エネサポーター」制度を11日に導入。きめ細かいニーズに対応して事業の拡大を図る。

大手企業などからの受注は地域代理店では対応できないため、8月に法人営業部を設置。このほど本格的に営業展開することにした。すでに西日本鉄道や大手流通などから受注しており、代理店で受注した大型案件に効率的に対応して受注拡大

を目指す。省エネサポーター制度は従来の地域代理店の展開に加え、自家消費や施工案件の紹介を中心に事業を手がけたい業者などを対象にした制度。顧客ニーズに応じた事業活動のメニューをそろえてネットワークを拡大するの

が目的。入会費は無料。代理店や業者は約20平方メートルの液剤と施工ツールで構成したトライアルキットを購入する仕組み。

EVなど次世代車 自治体に貸し出し

環境省は9日、電気自動車(EV)などの環境に配慮した次世代車の実証試験事業を始めると発表した。試験車両として4輪車と2輪車

片山右京氏(右)と環境相(中央)に見守る片山右京氏(右)と環境相(中央)に見守る



環境省は9日、電気自動車(EV)などの環境に配慮した次世代車の実証試験事業を始めると発表した。試験車両として4輪車と2輪車を計52台調達し、09年1月中旬から主に自治体に貸し出す。各自治体には試験車両を公開して活用してもらい、導入効果を検証する。試験は同3月末まで実施。事業費は08年度補正予算で4億円を計上している。同日の会見で、片山環境相は「来年はEVが市場に本格投入される『EV元年』。その先兵として、この事業が日本を引っ張る」と述べた。

環境省 4輪 EV 11月 河野

【用語】BRAC(ブイック)はアベド氏が73年に設立。貧困層の経済的安定、教育普及、自立心向上による社会変革をアジア・アフリカの発展途上国で推進する。マ

なり、前月(26.4%減)よりも減少幅が拡大した。日本工作機械工業会が9日発表した11月の受注

主要8社の合計は前月比36.6%減、日工会も同36.7%減。うち三菱重工業は前年同月比86.6%減の5億9000万

減速感が出ている。原油高で原油掘削機や風力発電設備向けの需要が旺盛だったが、原油価格が下落すると大型機の商談も長期化。大手顧客からも

【浜松】エイケンTは9日までに、早馬副社長(51)が社長に格する人事を固めた。営業利益は2700億

トヨタ自動車

切替える。工場の統廃合では、記減の2000億円に